

菊池市・大津町地域の運営会議（現地検討会）を開催

7月12日、令和3年度の菊池市・大津町地域森林整備推進協定運営会議を協定者である菊池市、大津町、菊池森林組合及び当署の関係者、またオブザーバーとして熊本県北広域本部林務課関係者の参加を得て19名で開催しました。

本整備協定は、昨年3月に協定期間を更新して第2フェーズに入っており、本年度の運営会議は民国の林道等を連結するための現地検討と、国有林と民有林の間伐実施状況を確認するために、現地検討会のスタイルで開催しました。

会議は甲斐誠一森林技術指導官の司会進行により、冒頭川畑充郎署長が協定者を代表して「新しいフェーズにおいて、これまで以上に各協定者間の連携協力を密接に行い、本施業団地の取組が他のモデルとなるようにして参りたい」と挨拶しました。

続いて、協定団地内の民有林から旭野国有林の作業道への連結地点において、国有林側のルートの確認、林道敷及び支障木の取扱等を協議して、連結の実現に向けて引き続き当署と菊池市で継続検討していくこととしました。

その後、市原増雄主任森林整備官より当署が平成28年度に実施した間伐（列状）の実施状況と列状間伐について説明を行うとともに、場所を民有林へ移動して菊池森林組合担当者より令和2年度に実施した間伐（定性）の実施状況について説明を受けて現地確認を行いました。

最後に、当署から本年度の重点取組事項等の情報提供を行うとともに、参加者全員で意見交換を行い有意義な運営会議となりました。



（連結地点での検討状況）



（民有林内の間伐説明状況）